

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-------------------|--|--|
| 事業所番号 | 1292500053 | | |
| 法人名 | メディカル・ケア・サービス株式会社 | | |
| 事業所名 | 愛の家グループホーム南流山 | | |
| 所在地 | 千葉県流山市鱈ヶ崎1311 | | |
| 自己評価作成日 | 平成26年2月4日 | | |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 | |
|----------|--|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人NPO共生 | | |
| 所在地 | 千葉県柏市光ヶ丘団地3-3-404 | | |
| 訪問調査日 | 平成26年3月17日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

| |
|---|
| <p>1.入居者様の一人ひとりを知る事で、その人らしい生活が出来る様、最大限に努めております。施設に入居しているから出来ないのではなく、『施設に入居したからこそ出来る。』と思っております。ご家族様・入居者様の想いが実現出来るように『歩けない・どこにも行かない』等の悲しい声が聞かれないよう、お手伝いをさせて頂き、施設での生活が少しでも良かったと思えるよう喜怒哀楽を共に感じながら努めております。</p> <p>2.一人ひとりの居場所があるよう、役割を大事にしております。生活の場・地域社会などといった形で外出などの機会作りに最も力をいれております。</p> <p>3.職員が心地良く働け、やりがいを感じて頂けるよう介護職員としての日々のスキルアップ、また高齢者の方々からの人生の教えを頂く事により、人間としての成長の場であると考えております。</p> |
|---|

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

| |
|---|
| <p>当事業所では同社流山美原事業所と合同での夏祭りやフリーマーケット、焼き芋大会等で地域住民と共に楽しむ機会を創っている。また自治会や小学校の行事に積極的に参加する他、小学生の下校時間の「見守り隊」の活動を8年間続けている。</p> <p>外出については、天気の良い日は近くの「かえる公園」や小学校を1周して梅や子供を見て楽しんでいる。毎月の外出では、市内でイチゴ狩りをしたり外食をしたりする。また、9月には家族も一緒に、一泊で富士山に出かけるなどの支援に努めている。</p> |
|---|

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 会社、事業所の運営理念は常に申し送り、会議の際に唱和を行っております。また、休憩所にも掲示していることにより、職員の意識を統一を図っております。 | 職員が所持するクレドカードには「運営理念」や「方針」が記載され、入職時のオリエンテーションで詳細を説明する他、ホーム会議や全体会議で唱和し浸透を図り、利用者の接遇や地域の人々との触れ合いに繋がっている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 自治会の小学校の行事にも積極的に参加しています。近隣小学校の下校時間に、地域活動の一環として、「見守り隊」を行い、継続出来る様支援してます。 | 流山美原と合同での夏祭りやフリーマーケット、焼き芋大会等で地域住民と共に楽しむ機会を創っている。また自治会や小学校の行事に積極的に参加する他、小学生の下校時間の「見守り隊」の活動を8年間続けている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域包括支援センターが主催する「認知症の会」の出席、民生委員を通じて行事などの参加促進に取り組んでおります。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 活動報告、入居者様状況など写真も交えながら報告を行っています。状況に沿った議題をしています。例えば、看取り・事故について | 民生委員、自治会役員、介護保険課、地域包括支援センター、東洋学園大学等からの参加を得、事業所内や、地域とのつきあいにおける諸課題について改善のための意見交換がなされ、経緯は詳細に記録されている。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 運営推進会議への参加をお願いし、ご家族様にも目を向けて頂けるよう環境作りを行なっております。また、グループホーム連絡会など交流の場を用いて積極的に関係性を密にしております。 | 市へは運営推進会議への参加で家族の理解を深めて貰う働きかけをしている。また、グループホームの連絡会議で定期的に意見交換をし、相互の理解が進むよう努めている。市には地域でのイベントの相談もしている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 会議など意識の統一性を図り、基本方針の提示を行なっております。また、ケア推進課など相談窓口などで身体拘束促進運動を会社全体で行なっております。 | 身体拘束の内容と弊害について、基本方針の掲示や研修を通じて周知し、玄関の施錠をせず、見守りやコミュニケーションを深めることで安全を確保しつつ「身体拘束をしないケア」を実践している。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 虐待の始まりとされる声掛けに気を配り、全職員虐待防止に努める。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 会議内で場を設けています。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居契約時に重要事項説明書、契約書の読み合わせを行い、不安や疑問に対して説明をし、理解、同意を頂いております。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 玄関にはご意見箱を設置し、会社として年1回のアンケートを行っております。ご家族様が来設の際には積極的に話し掛けるように心掛けております。 | 運営推進会議日の午前中はイベントや家族会を開催し参加者から、穏やかな雰囲気の中で率直な意見を聴いている。また本部で毎年家族アンケートを実施しているが、これらの意見を事業所の運営に反映させている。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 定期的な個人面談、年1回の職員アンケート、職員の意見を反映出来る様な取り組みを行っており、会議等でも発言しやすい環境作りを努める。 | ホーム会議では職員が意見を出し易い進行を心掛け、本部の行うアンケートでは職員の意見を把握し、これらを運営に反映させている。また業務中や個人面談における職員の意見も運営に反映する取組を行っている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 職員アンケート、表彰制度、個人能力評価等があり、個々の実績、勤務状況の把握に努め、職場の環境整備を行っております。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 会社には、標準介護教育カリキュラムがあり、ホーム内で利用しております。全体会議などのホーム内研修、外部研修の告知を行い、受講の機会を設けております。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 他ホーム研修、合同イベント等を用いて、相互の問題について考え合う機会を月1回作っております。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|-----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 話しやすく、なるべく気を使わずに済むような環境作りを行い、職員同士の情報交換により、更に安心して生活していただけるように関係を密に努めております。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ホーム見学時、契約時等を通じ、ご家族の不安、要望に耳を傾け、良好な関係作りに努めております。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 丁寧なアセスメントを心掛け、ご本人、ご家族のニーズを探り、把握に努め、個々の必要とするサービスに対応できるように取り組んでおります。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 生活の場の主役が入居者様であるように、一人ひとりの役割の尊重を行い、共に支えあう環境に努めております。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 月1回のホーム便りで、ホームや入居者様の近況を報告し、ご家族が参加できる行事を設けております。また、ご入居者がいつ来られても入居者様とゆっくり過ごせる環境作りに努めております。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご本人の友人が、いつ来られても、職員が対応出来るように配慮しております。同窓会、コンサートへ出かける等、ご家族の協力の下、入居前の関係の継続に努めております。 | 手紙のお手伝い、同窓会への参加や肉親の葬儀への参列、コンサートの観賞など、利用者が社会との関係を継続できるように支援している。近隣の職員が居ることもあり、入居前の関係継続の支援が容易になっている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | フロアの配置、席替えを行っております。買物等も交替で行くように心掛け、外出レクなどは、全員で行く事が出来るように配慮しております。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 必要に応じて、相談や支援を行ない、築いた関係は大切にしていこうと努めております。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 半年に1度センター方式を使用しております。 職員間で情報を共有し、本人の要望や意向の把握に努めております。 | 1泊旅行の時など利用者とのコミュニケーションを図りやすいときに、昔のことを訊きながら、思いや意向の把握をしている。また、困った時ほど表情・目線・動きに出やすいので、これを察知し職員間で情報を共有している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居時のアセスメントで、それまでの暮らし方やサービス利用の経過を把握し、ご家族の面会時には、少しでも話をするように心掛け、過去の生活についての情報収集に努めております。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 食事量、水分量、排泄回数、バイタルなど、毎日チェックを行なっております。 その日の過ごし方は個人記録に記入し、現状の把握を欠かさないようにしております。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ケアマネージャー、ユニットリーダー(計画作成担当者)が中心になり、会議等で職員間の情報共有を行い、計画に対してのモニタリングを行なっております。必要に応じて、往診医を交えてご家族とのカンファレンスを行なっております。 | 介護計画の短期目標を全職員が毎日チェックし週に1度モニタリングシートに記入している。ケアマネ、ユニットリーダーを中心に家族の意向も踏まえて全職員でカンファレンスを行い現状に即した介護計画を作成している。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 特変事項や、会話中のちょっとした変化、行動の変化を個人記録、日報に記入し職員間の情報の共有を行なっております。それを基に計画の見直しを行なっております。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 本人、ご家族の状況により、往診だけでなく、受診に付き添うなど、柔軟なサービス体制をとっております。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 園芸ボランティアをお願いしたり、地域新聞などを有効活用し、協働に努めております。また社会との繋がりが切れないよう日常生活支援を行っております。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 訪問美容を利用したり、朝の整容時は鏡の前で自分の姿を見ながら行なうようにしております。服装についても、個人の意思を尊重しております。 | 法人の協力医療機関の内科医が月2回往診し、ポータブルでレントゲン撮影も実施している。訪問歯科は毎週木曜日の午前中に実施するなど、適切な医療を受けられるように支援している。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 看護用の記録を行い、毎週水曜日には、どの職員が担当になっても訪問看護師に報告が行なえる環境に努めております。またそれに伴い、一人ひとりの知識の向上に努めております。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入居者様の入院希望先を把握しており、入院の際には担当医、ご家族との連絡を密にしながら早期退院を目指している。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居時に「重度化した場合における医療体制指針」を文書にて説明し、同意を得ております。終末期を迎える際はご家族様とのカンファレンスを行い、事業所で最大限に取り組める範囲で支援しております。 | 入居時に「重度化した場合における医療体制指針」を説明し、同意の署名がされている。最近、病院での看取りが1例あったが、重度化した場合や終末期には医療機関や家族との連携が密に行われている。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | ホーム内研修や外部研修を行い、全職員、救命講習を受けております。救急対応マニュアルを基に、24時間体制で往診医との連絡がとれるようになった。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年2回の消防訓練を実施し、消防計画に基づき訓練しております。また地域の協力体制が行なえるよう、日々の地域交流の場を大切にしております。 | 消防署の立ち会いのもと、夜間を想定し、1階のデイサービスと合同で避難訓練を実施している。また、職員に知らせず、緊急時の自主訓練も実施しているが、少し慌てたものの、消防立ち会い時と同様に出来ている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 個人情報、鍵のあるところに保管しております。職員の言葉かけにも気を配り、人格を損なう事の無いように努めております。 | 利用者個々の人格を尊重し、声かけに気を配り、その人らしさを大切にしたケアを実践している。個人情報は鍵のあるロッカーに保管され、目に触れないよう配慮されている。また、失禁の際の更衣には特に配慮している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 10時のお茶の時間には、何種類かのメニューから選んでいただくなど、常に自己決定できるような会話の工夫を行っております。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 日中の居室での休息、夜の入浴等、入居者様本人のペースに合わせた支援に努めております。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 訪問美容を利用したり、朝の整容時は鏡の前で自分の姿を見ながら行なうようにしております。服装についても、個人の意思を尊重しております。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の準備は個々の能力に応じて、できる事をしていただいている。定期的に入居者様の好みの食事を作り、外食の際には、好きなものを個別に選んでいただくようにしております。 | 法人のメニュー表が有るが、利用者の食べたいという声に応えるようにしている。食事の準備や片付けは個々の能力に応じた手伝いをして貰っている。外食の際、回転寿司に行き、皆で100巻食べたこともある。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 買物の際にバランスを考えた食材選びをし、食事量、水分摂取量のチェックは毎日行っております。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、一人ひとりに合った口腔ケアを行い、週1回訪問歯科往診を用いて適切な管理指導を受けております。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄表を基に個々のパターンを把握しております。夜間の様子は職員間で申し送りを行い、失敗を減らし、おむつ等には頼らない対策を考えています。 | 排泄チェック表には個々の排泄パターンが記録されている。昼間は布パンツにして、さりげない言葉かけでトイレでの排泄を誘導している。夜間も時間でトイレ誘導しているので、失禁する人は殆どいない。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 牛乳やヨーグルト、オリゴ糖を用い、すぐに薬に頼れない様に心掛けております。運動の為、極力外に出る機会を作っております。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 入浴中は、本人の意思を尊重し、職員が必要以上に介助を行なわない様に心掛けております。また、夜の入浴等、時間帯も幅広く対応しております。 | 入浴は背中など洗いづらい所は介助するが、一人でゆったりと入れるように支援している。また、全介助の人は湯船に入ってもらい介助している。季節毎に菖蒲湯やゆず湯にしたり、希望によっては入浴剤を使用している。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 特に就寝時間を設ける事をせず、本人の意思に任せて休んで頂く様にしております。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 個々の薬の使用について理解し、往診医へ相談しております。変更があった場合も、全職員が把握できる体制になっており、その後の様子観察を行っております。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 本人の思考を尊重し、お酒の好きな人には晩酌の時間を設けております。ピアノ、書道、絵画、写真、居室に置き、個人の趣味を活かせる様に配慮しております。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 天気の良い日は、散歩に出かけ、買物の際には入居者様と一緒に行動しております。月に1度以上は全員で観光等の外出をし、同時に外食もしております。また個別でもその機会を増やすように努めております。 | 天気の良い日は近くの「かえる公園」や小学校を1周して梅や子供を見て楽しんでいる。毎月の外出では、市内でイチゴ狩りをしたり外食をしたりする。また、9月には家族も一緒に、一泊で富士山に出かけるなどの外出支援に努めている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 入居者様には、常日頃自由に使えるお小遣いがある事を伝えております。外出時には個人の私物財布を持参し支払いなどは入居者様に行なっていただけるように支援しております。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 事務所の電話は、いつでも使えるようにしており、いつでも使えるようにしており、外出先で買ったご家族へのお土産がある時などは、すぐに本人から連絡をして頂き、自由に連絡がとれる様になっている事を分かって頂く様に努めております。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 階段や通路には行事の写真を貼り、生活感のある雰囲気を作っております。入居者様と一緒に作る手作りカレンダーや、その月の行事内容を掲示し、季節感を出すように努めております。 | 殆どの利用者が朝から夕方まで共に過ごすリビングには、ボランティアの人たちと一緒に作ったカレンダーや季節ごとの標語、ひな祭りの飾り付けがきれいに飾られている。リビングでは饅頭作りや前ホーム長が来てそば打ちを楽しむこともある。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | フロアには誰もが自由に使えるソファや椅子を用意しており、晴れた日にはベランダに置いてあるテーブルの回りで季節感を得ながら会話やお茶を楽しめる様にしております。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室には入居者様、ご家族の置きたい物を自由に置いて頂いております。また、お客様が来られた時にゆっくりできるスペースも確保しております。 | 居室にはそれぞれ思い思いのものが置かれ、中には仏壇に毎朝ご飯を供える人や、高さ調節が困難だが昔から使用していた電動ベットを置いている人もいます。また利用者には出来る範囲内で掃除をしてもらっている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 手摺りだけではなく、見守りながら物伝いに歩ける様に家具の配置を工夫したり、トイレや居室も本人に分かるようにマークや表札をつけております。 | | |